

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月25日更新

事務事業名	市債元金管理事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務部	課長名 中村 誓丞
	施策	26 財政改革の推進			所属課	財政課	担当者名 白濱 裕
	基本事業	92 健全な財政計画の策定			所属班	財政班	(内線) 1244
予算科目	会計一般	款 12	項 1	目 1	事業連番 11115	法令根拠	地方自治法第230条
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥							

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市債の発行に関する事務及び繰上償還にかかる償還事務を行う。併せて、地方債の定期償還のうち、元金について管理を行う事務である。 ・昭和22年 地方自治法第230条により、地方公共団体の資金調達を円滑に行うため、制度化されたものである。 ・現在、世界的な景気後退や円高による国内経済の悪化が続いている状況で、今後の市税の増加は見込めず、市債発行額と公債費のバランスを保ち、健全な財政運営を行う事が求められる。
【業務の流れ】	①各課から事業内容を聞き取り、適債の確認、収支の均衡、公債費との均衡等を図り、起債を決定する。→②県との起債協議→③県からの同意通知を基に起債の借入→④借入先から発行される起債償還表を市財務システムに確実に入力し、償還計画表を作成する。→⑤元利償還を正確に遅滞なく行う。
【主な予算費目】	償還金利息及び割引料(元金償還金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	総合政策審議会から、市でも財政が厳しい状況を一部の職員しか理解していないのではないか。苦しみを伴った施策が見えない。との意見がある。 市民アンケートから、更なる財政改革を進める旨の意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成23年度市債の発行に伴う起債申請及び平成23年度定期償還にかかる償還を行った。 平成23年度市債発行額 1,714,994千円 平成23年度公債費(一般会計・元金のみ) 1,350,173千円	前年度と同様
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 公債費(一般会計・元金及び利子の合計)	千円 地方債元金定期償還金の償還計画(見込み)による増
イ	千円
② 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市債(発行・償還)	→ ア 市債発行額(一般会計) 千円
	イ 公債費(一般会計・元金のみ) 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
発行額を抑制し、財政計画で見込んだ市債発行額内で適正に管理する。	→ ア 市債発行額/財政計画における起債発行額 %
	イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
起債発行額を適正に管理するため成果指標とした。目標値については、中長期財政計画の数値を用いている。財政計画で示した17億円起債に対し、H24予算は15億円起債予定なので達成見込み有り	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込		
① 活動指標	ア 千円	1,781,826	1,589,416	1,571,423	1,578,557	1,630,557	1,855,086	1,879,660	1,754,030		
	イ 千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
② 対象指標	ア 千円	1,230,829	1,814,598	1,894,700	1,714,994	1,550,400	1,700,000	1,700,000	1,700,000		
	イ 千円	1,781,826	1,363,602	1,350,173	1,350,173	1,408,000	1,624,347	1,645,814	1,539,606		
③ 成果指標	ア %	15,907,386	16,322,607	100	100.9	100	100	100	100		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		7,092	7,365	8,369	7,000	7,000	7,000	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	80,771	66,243	61,102	69,239	61,305	60,000	60,000	
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	千円	1,701,055	1,297,360	1,255,780	1,273,569	1,338,326	1,470,000	1,470,000	1,390,000	
		(A)のうち指定経費	千円	1,781,826	1,363,603	1,323,974	1,350,173	1,408,000	1,537,000	1,537,000	1,457,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	1,363,603	1,323,974	1,350,173	1,408,000	1,537,000	1,537,000	1,457,000
	人件費	正規職員従事人数	人	4	3	4	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	0	526	330	516	500	500	500	
(B) 人件費計	千円	0	2,167	1,359	2,083	1,359	2,060	2,060	2,060		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,781,826	1,365,770	1,325,333	1,352,256	1,409,359	1,539,060	1,539,060	1,459,060	

事務事業名	市債元金管理事務	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 財政計画で見込んでいた市債発行額17億円での市債残高を成果指標としていた。平成23年度現年度分としての市債発行額は、約14億5千万円で予定内の発行額であったが、平成22年度からの繰越事業となった分が約2億6千万円だったため、成果指標を達成できなかった。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 定期償還のみであり、償還額は把握できている。新規起債分も予算及び財政計画の範囲内で予定しているので、達成見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 定期償還に加え、高利率で借入を行っている起債の繰上償還や、今後の借入起債額の抑制に努めることで、地方債残高の適正化を図り、成果を向上させる余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は元金の償還額であることから、資金を借り入れる時点で競争性を高め貸付利率を抑制する。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市債は電算システムで管理しており、事務手順は削減できないが、事務量は各年度で行う事業数などに左右されることから、削減余地がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 期限内に定められた元金の償還を行う事が目的であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市債の元金の償還であることから、他への移行はできない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

定期償還については期限内に定められた金額の償還を行い、適正に管理できたが、残高の目標達成には至らなかった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)  <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>有効性：財政計画に基づく起債額を堅持する事で、地方財残高を抑制していく。      効率性：事業課の事業量次第なので、どの事業に起債するか適性に判断を行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>なし</p>																						